

2024 全然堂歳時記 夏

【涼し2】

9月23日 10時20分

2024年7月21日 発

10行2段12ボ 桐10

千年の仏に仕へ堂涼し 潔く仮説を捨つる涼しさよ  
祖母に聞く昔話の涼しさよ ばつさりと切つて涼しき自選集  
つかまつてある日涼しく立ち上がる 涼しさや紅一点の蚊遣香  
庭を掃くことも修行や僧涼し 青といふ涼しき色に煮炊の火  
涼しさに住んでもみたき土星の輪 濃き色を薄く伸ばして涼しさよ  
大陸と海を隔てて涼しけれ 井は涼しと猫の子が眠る  
天龍の川となりたる涼しさよ いまはただ遠く涼しくベンチャーズ  
涼しさは水尾か水輪かさざ波か 三十度切つて涼しと思ふ日も  
一枰を一字で埋める涼しさよ 涼しさと寝るは極楽一丁目  
積み上げし積木涼しく崩れたり 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

千年の仏に仕へ堂涼し また一つ仮説を捨つる涼しさよ  
祖母に聞く昔話の涼しさよ ばつさりと切つて涼しき自選集  
つかまつて或る日涼しく立ち上がる ~~涼しさ~~や紅一点の蚊遣香  
庭を掃くことも修行や僧涼し 青といふ涼しき色に煮炊の火  
涼しさに住んでもみたき土星の輪 濃き色を薄く伸ばして涼しさよ  
大陸と海を隔てし国涼し 井は涼しと猫の子が眠る  
天龍の川となりたる涼しさよ いまはただ遠く涼しくベンチャーズ  
涼しさは水尾か水輪か漣か 三十度切つて涼しと思ふ日も  
一枰を一字で埋める涼しさよ ~~涼しさ~~と寝るは極楽一丁目  
積み上げし積木涼しく崩れたり 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

2024 全然堂歳時記夏

涼し

6月4日 20時 20句

2024年7月21日 発

10行2段12ボ 桐10

千年の<sup>5</sup>仏<sup>1800</sup>に<sup>9</sup>仕<sup>5</sup>へ堂涼し大粒の人造ダイヤ涼しけれ

庭を掃くことも修行や僧涼し一枰を一字で埋める涼しさよ

祖母に<sup>と</sup>聞<sup>う</sup>く昔話の涼しさよまた一つ仮説を捨つる涼しさよ

つかまつて或る日涼しく立ち上がるばつさりと切つて涼しき自選集

涼しさに住んでもみたき土星の輪青といふ涼しき色に煮炊の火

大陸と海を隔てし国涼し濃き色を薄く伸ばして涼しさよ

天龍の川となりたる涼しさよ井は涼しと猫の子が眠る

涼しさは水尾か水輪か漣かいまはただ遠く涼しくベンチャーズ

ざつざつと水切る筈の涼しけれ三十度切つて涼しと思ふ日も

積み上げし積木涼しく崩れたり歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

2024 全然堂歳時記 夏

【涼し2】

7月25日 20句

2024年7月27日 発

10行2段12ボ 桐10

涼しさに住んでもみたき土星の輪 ばつさりと切つて涼しき髪、句集  
大空に大音声の涼しさよ また一つ仮説を捨つる涼しさよ  
大陸と海を隔てし国涼し 大粒の人造ダイヤ涼しけれ  
天龍の川となりたる涼しさよ 青といふ涼しき色に煮炊の火  
涼しきは水尾か水輪か 漣か濃き色を薄く伸ばして涼しけれ  
ざつざつと水切る笊の涼しけれ いまはただ遠く涼しくベンチャーズ  
井は涼しと猫の子が眠る 三十度切つて涼しと思ふ日も  
積み上げし積木涼しく崩れたり 千年の仏に仕へ堂涼し  
一字にて足る一、十、百、千、万涼し 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し  
かきとり帖おほきな枡の涼しさよ 庭を掃くことも修行や僧涼し

の  
7.25  
12.48

とん  
れ  
て  
12.54

2024 全然堂歳時記 夏

【涼し2】

7月25日19時20分

2024年7月27日発

10行2段12ポ桐10

涼しさに住んでもみたき土星の輪 ばつさりと切つて涼しき髪、句集  
大空に大音声の涼しさよ また一つ仮説を捨つる涼しさよ  
大陸と海を隔てし国涼し 大粒の人造ダイヤ涼しけれ  
天龍の川となりたる涼しさよ 青といふ涼しき色に煮炊の火  
涼しさは水尾か水輪か 濃き色を薄く伸ばして涼しけれ  
ぎつぎつと水切る筈の涼しけれ いまはただ遠く涼しくベンチャーズ  
井は涼しと猫の子が眠る 三十度切つて涼しと思ふ日も  
積み上げし積木涼しく崩れたり 千年の仏の住まふ堂涼し  
一字にて足る一、十、百、千、万涼し 歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し  
かきとり帖おほきな枡の涼しさよ 庭を掃くことも修行や僧涼し

7.25  
23.36  
4れ

7.25  
23.36  
4れ



2024 全然堂歳時記夏

【涼し2】

20句

2024年7月27日発

10行2段12ボ桐10

涼しさに住んでもみたき土星の輪<sup>13:43</sup>ばつさりと切つて涼しき髪、句集

大空<sup>天と地の大空</sup>に大音声の涼しきよまた一つ仮説を捨てて涼しけれ

大陸と海<sup>と海を隔て流</sup>を隔てし国涼し大粒の人造ダイヤ涼しけれ

天龍の川と化したる涼しきよ青といふ涼しき色に煮炊の火

涼しきは水尾か水輪か漣か濃き色<sup>濃き色</sup>を薄く<sup>薄く</sup>伸ばして涼しけれ

ぎつぎつと水切る筈の涼しけれいまはただ遠く涼しくベンチャーズ

井は涼しと猫の子が眠る三十度切つて涼しと思ふ日も

積み上げし積木涼しく崩れたり<sup>13:45</sup>千年の仏を守る堂涼し

一字にて足る一、十、百、千、万涼し歳月の吹き抜けゆくや墓地涼し

かきとり帖おほきな枡の涼しさよ庭を掃くことも修行や僧涼し

天地に白きを流しけれ<sup>13:47</sup>  
地と空と白きを流しけれ<sup>13:50</sup>  
地と空と白きを流しけれ<sup>13:50</sup>